

第70回日本ハンドボール選手権大会（男子の部）

戦況用紙

日時 2019年2月1日（金）

場所 山鹿市総合体育館（Aコート）

回戦 準々決勝

A 17 大崎電気 (JHL) ○ 23 $\begin{pmatrix} 14 - 8 \\ 9 - 11 \end{pmatrix}$ 19 ● 琉球コラソン (JHL)

戦況	前半	<p>開始早々コラソンの俣野のスカイプレーを大崎電気GK木村が好セーブ、直後に大崎電気は元木→岩永のコンビプレーからのシュートで先制する。対するコラソンは再度スカイプレーを試み、俣野がシュートを決める。しかし、その後コラソンは、大崎電気の高さのあるディフェンスと早いフットワークに攻め手が見つからない。大崎電気はパスカットを速攻につなげて4連続得点を挙げ試合の主導権を握る。コラソンは三村のミドルシュートや速攻で得点を上げるが、大崎電気の固い守りとGKの好セーブの前に、なかなか点差を縮めることができない。試合はロースコアが進むが、中盤から大崎電気はサイドを含めたコート幅全体を使う攻撃を展開し、カットインプレー、ロングシュートで得点を重ね、前半を14対8で終了する。</p>
	後半	<p>後半に入り、大崎電気は安倍のカットインプレーでさらに差を広げるが、その後は速攻ミスやシュートミスが見立ち、思うように得点が伸びない。一方コラソンは、サイド攻撃に重点を置いて大崎電気ディフェンスを崩そうと試みるが、GK陣の好セーブに阻止されてしまう。25分過ぎからコラソンは、佐藤のミドルシュート、速攻、サイドシュートなどで4連続得点するが、前半の失点をカバーするには至らず、23対19で大崎電気がベスト4進出を決めた。</p>

記入者

田原春 稔